

# 《上下水道部 令和2年度予算見積方針》

## 部内マネジメント責任者

部長 打田 敏之

総括副部長 奥山 敏樹

副部長 平尾 聡

## 予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

### 【施策全体の方向性、基本的な考え方】

市民のみなさまへ、安心・安全で安定した水の供給に努めるとともに、下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。また、信頼を高める安定した経営に努めます。

- ◆「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行うとともに、災害に強いライフラインの確保のため、計画的に耐震化を図り、施設の更新に取り組みます。
- ◆下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めるとともに、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促します。また、災害に強いライフラインの確保のため、耐震化・長寿命化を考慮した下水道施設の更新に取り組みます。
- ◆上下水道事業のサービス向上に努めるとともに、安定的に継続するため、健全な事業経営に努めます。

### 【重点事項】

- ◆草津市水道ビジョン他・下水道事業経営計画策定費  
水道ビジョンおよび経営計画の次期計画を策定し、今後の大規模事業の実施が経営に与える影響を的確に把握し、適正な料金水準を検討します。
- ◆管路更新事業  
水道ビジョンに基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新を優先的に進めます。
- ◆管路整備事業  
配水管の新設および改良を行い、水道水の安定供給を図ります。
- ◆浄水場施設整備事業  
経年劣化した設備の更新を行い、安全性の確保、機能効率の改善、維持管理費の低減を図ります。また、耐震性を有していない施設の補強を行い耐震性の確保を図ります。

### 【健幸都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

上下水道部は、健幸都市基本計画の基本方針の一つである「まちの健幸づくり」の推進に向けて、下記事業を実施します。

- ◆「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行うとともに、災害に強いライフラインの確保のため、計画的に耐震化を図り、施設の更新に取り組みます。
- ◆公衆衛生向上のため、下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めるとともに、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促します。また、災害に強いライフライン確保のため、耐震化・長寿命化を考慮した下水道施設の更新に取り組みます。

## 【見 積】令和2年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和2年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	4,773	173	水道事業については、施設の更新や耐震性向上に、下水道事業については、施設の耐震対策や未整備地の下水道整備に重点を置いた予算編成を行いました。
上下水道総務課(下水道事業)	1,395,058	1,395,058	
上下水道施設課	2,874	2,598	
合 計	1,402,705	1,397,829	

## 【前年度】令和元年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	191,399	299	
上下水道総務課(下水道事業)	1,555,102	1,555,102	
上下水道施設課	2,842	2,566	
合 計	1,749,343	1,557,967	

## 【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	▲ 186,626	▲ 126	水道事業における、歳出総額の減はロクハ浄水場新館耐震工事が完了したことによるものです。また、一般財源が減少しているのは、一般会計の負担となる配水池整備時の消火水量増加分に係る企業債償還利息が減少していることによるものです。 下水道事業においては、農業集落排水施設の公共下水道への接続が完了したことによるものです。
上下水道総務課(下水道事業)	▲ 160,044	▲ 160,044	
上下水道施設課	32	32	
	0	0	
	0	0	
合 計	▲ 346,638	▲ 160,138	

**主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)**

事業名	事業費(千円)	一般会計		事業概要
		一般会計	特別会計	
配水管更新事業	550,296	0	0	水道ビジョンに基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新を優先的に進めます。
浄水場施設整備事業	290,379	0	0	両浄水場における経年劣化した施設・設備の更新、耐震補強を行います。
公共下水道整備事業(汚水)	595,130	0	0	下水道施設の耐震対策および未整備地の下水道整備を進めます。

**枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況**

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
上下水道総務課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道施設課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
ロクハ浄水場【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
北山田浄水場【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
給排水課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道総務課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道施設課【下水道事業】	478	478	0	0	0	0	
給排水課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
合 計	478	478	0	0	0	0	

**マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について**

<p><b>【水道事業】</b>  水道ビジョンおよび水道事業経営計画に基づき、中長期的な経営の健全性を保ちながら、浄水施設の更新や、経年管の更新に対する投資的経費に予算を重点的に配分しました。  日常的な浄水場の運転や維持管理については、安定的に水を供給するために必要な経費を見積りました。また、ロクハ浄水場から遠方監視を行うための装置の更新を行います。</p>
<p><b>【下水道事業】</b>  下水道事業第8期経営計画に基づき、計画的に施設の長寿命化対策を進めています。  施設の維持管理については、流域下水道維持管理負担金が経費の大きな割合を占めており、大幅なコスト削減は難しい状況にありますが、経営の健全性を保ちながら必要経費を見積り、安心・安全に下水道をご利用いただけるよう、適切な維持管理に努めます。</p>